

清流太川

羽地中学校
学校日より 104 号
せいりゅうおおかわ
H30.10.12



人は運と きっかけで 変われる

9日(火)、進路講演会を各学年ごとに実施しました。本取り組みは、様々な人生の先輩達をお招きして、進路に係る講話を通して、自己の成長と進路決定、働くことと社会とのつながり、役割と貢献、生きがいや感謝について考え、豊かな人生を歩んでいく態度と意欲を高めるキャリア教育を推進するために取り組んでいます。今回は、東克明(あずまかつあき)氏です。2年生が書いた振り返りを掲載します。



○役者になるために、いろいろ頑張っていることが分かりました。東さんみたいに勇気を出して、頑張ってみたいと思いました。指名された時は何も質問できなかったのですが、発表をもっと積極的にできるように頑張っていました。(Kさん)

○今日の講話で三つ学びました。まず一つは、辛い方と楽な方があったら、辛い方を選んだ方がよい。二つ目は、最初から最後まで続けること、とつもない達成感が得られるということ。三つ目は、考え方を換えると、楽しくないことも楽しくなるということ。この三つを信じて、楽しく生きていきます。また、お会いしたときは、自慢しいましよう。(Sさん)

○社会に出て必要なものについて東さんが考えた事は「人間力を身につける」と「一人に助けを求める」でした。私もこの二つは大切だなと思いました。自分の一番、心に残っているのは「運の積み重ねが今の自分」という言葉です。私は、「運だな」と思った時は、「チャンスだ」と思っていて活用していきたいです。(Sさん)



○何事も挑戦することが大事だと思いました。東さんは、とても根暗で静かだったと聞きました。でも、名護中学校へ転校して卓球部に入り、少しずつ変わっていききました。最初は周りの意見にながされてばかりだったけど、自分で決意して頑張ったこと。そこから演劇と出会って、その道でも一生懸命に頑張っている姿を見て、僕も色々なことに挑戦していきたいと思いました。(Mさん)

○高校の学園祭で初めて演劇部として舞台に立ったときに、笑われて、馬鹿にされて、傷ついたけど最後までやりきった後の達成感があったのは、すごく良いと思います。また、東さんの運の良さにも驚きました。たまたま、留学先のオランダへの希望者が少なく、kesonしか言えなかったのに合格したなんて、驚きました。私も頑張りたいです。東さんのように。(Uさん)



○東さんの講話を聞いて、変わりたいという気持ちが強くなりました。将来、私も大人になったら、変わりたいなと思いました。職場体験は不安で、「失敗しないかな?」「大丈夫かな?」と思っていましたが、少しだけ楽しみだなという気持ちが出てきました。(Tさん)

○私も意見を言うのが苦手なので、共感できる場所が多かったです。親に自分の将来の夢を言った時は、一番共感しました。今日の講話を今後に活かしていきたいです。(Tさん)

○思ったことは、運は大切にと言うことです。運を引き寄せるようにしたいです。中学校までは全然自立的なことで、教室の端っただけ一人本を読んでいる少年だった家族でご飯を食べる時も、何を食べたのかすら言えなかった人が演劇をするなんて、すごいと思いました。きっかけは大事だと思いました。(Yさん)

○自分の内に秘める、自主的でないモヤモヤ感をなくすために入部した卓球部で、自分を変えることができたというエピソードは、とても印象に残っています。人生において「つらい選択」をするのも「後の幸せ」につながるチャンスなんだと思いました。どんなに辛いときでも、考え方を換え、理由付けをし、やる気につなげた東さんだからこそ、今、幸せな生活ができています。憧れしました。(Kさん)

○人が変わるチャンスはいくらでもあるし、そのチャンスを活かすかはとても大切だ。サッカー部代表のニーマールの言葉に「苦しいから逃げるのではない、逃げるから苦しいのだ。」とあるように、まさに東さんの卓球部で走り抜く時のお話と一致して、まさにそうだと実感しました。(Iさん)

○東西南北さんの話を聞いて、すごいと思いました。昔は静かだった聞いて驚きました。僕も今日の話を自分の人生に活かそうと思います。(Nさん)